



IAIS

INTERNATIONAL ASSOCIATION OF
INSURANCE SUPERVISORS

国際金融規制の現状と課題

2016年4月27日 RIETI BBL セミナー

河合 美宏

保険監督者国際機構 (IAIS) 事務局長



内容

1. 背景と歴史
2. 制定方法
3. 国内規制となる理由
4. 主な規制基準
5. 今後の課題

1. 背景

- リーマンショックと国際経済
- 金融と経済のグローバル化
- 恩恵と脆さ
- 国際金融規制基準の役割

国際金融規制の歴史

1973年	先進国が変動為替相場制へ移行、相場混乱で74年にドイツの銀行破綻
74~94年	銀行、証券、保険の国際監督機構設立
97~98年	アジア通貨危機
99年	金融安定化フォーラム設立
2008~09年	世界金融危機
09年	金融安定理事会設立

2. 制定方法

- 委員会方式
- 多数決とコンセンサス
- メンバーと事務局
- 主な国際金融規制基準設定機関

国際規制をつくる主な4機関

バーゼル銀行
監督委員会
(銀行)

保険監督者
国際機構
(保険会社)

金融安定理事会
(分野をまたぐものや
区別が曖昧なもの)

事務局は
スイス・バーゼル

証券監督者国際機構
(証券会社)

事務局はマドリード

3. 国内規制となる理由

- 国際基準の効力
- 国際基準制定上の原則
- 国内法となる理由

4. 主な規制基準

- 自己資本比率規制基準
- 銀行、保険会社グループに対する規制基準
- グローバルなシステム上重要な金融機関に対する規制基準

自己資本比率の規制の強化

1988年
バーゼル1



国際的に活動する銀行は自己資本比率が最低8%必要

(自己資本比率 = 自己資本 ÷ 貸し倒れなどの危険がある資産)

2004年
バーゼル2



資産価値変動や貸し倒れなどの危険を精密に計測

2010年
バーゼル3

自己資本の質と量を厳格に評価

必要な自己資本の額を大幅に引き上げ

国際的な銀行・保険会社グループの規制

グループ統括
本社 (A国)

銀行・保険
子会社 (B国)

銀行・保険
子会社 (C国)

A、B、C国が協力し、
全体を把握して監督

グローバルなシステム上重要な金融機関への規制

- 資本の上乗せ規制基準
- 規制の強化
- 再建・破綻処理計画の整備

5. 今後の課題

- 規制基準の精緻化
- 規制調和化の強化
- 金融監督の推進
- 規制の抜け穴を防止
- IT進歩への対応

主な金融仲介部門の金融資産残高

